

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS1308						
科目名	スポーツ運動学原論						
担当教員	宮内 育大						
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期				
曜日・時限	水 2						
講義室	1501	単位区分	必				
授業形態	講義	単位数	2				
科目大分類	専門						
科目中分類	総合基礎						
科目小分類	専門基礎						
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－E（学識・専門技能） 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 D P 4－I（理解力・分析力） 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E 1 学識・専門技能（8 0％） I 1 理解・分析と読解（2 0％）						
教員の実務経験							
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発目標ステージとの対応 2 進行期 ～ 3 発展期						
科目概要・キーワード	現象学的立場から人間の運動の構造と発生を理解し、これらの知見を運動指導や運動学習に用いるための方法論を習得します。具体的には、マイネルによって確立された運動モルフォロジーの方法を基に進められてきたスポーツ運動学研究の観点より、運動質や運動観察、運動学習、運動の発達、運動の指導方法などについて、運動研究の発展の歴史を踏まえながら理解を深めます。さらに、スポーツ運動学の理論と実際のスポーツ・運動指導の場面で見られる事象との関連性についても資料・視聴覚教材等を用いて学びます。授業形態は講義形式により行います。なお,授業を補完・代替するためオンライン授業(オンデマンド型・ライブ配信型)を取り入れます。 ■キーワード：現象学、運動モルフォロジー、キネステーズ						
授業の趣旨	■副題 運動に関する質的観点 ■授業の目的 スポーツ運動学とはどのような学問であるかを理解し、その研究方法や研究結果について説明することができることを目的とします。 ■授業のポイント 人間が運動をすることに関する質的なアプローチについて、これまでのスポーツ運動学に関連する研究や、書籍を基に情報を整理し、運動を見抜くための観点を学びます。						
総合到達目標	■スポーツ科学領域における研究活動のために、学問としてのスポーツ運動学の構造を理解し、基礎的知識を修得する。 ・スポーツ運動学における一般的な専門用語の認識について説明できる。（第1回～第6回） ・専門的な基礎的知識について習得し、説明することができる。（第7回～第10回） ・学んだ知識を用いて課題解決のための具体的な手段や方法論について討議することができる。（第11回～第13回） ・学問としての具体的な手段や方法論について記述することができる。（第14回・第15回） ・専門的な知識を用いて、自身の運動を説明することができる。（第2回～第15回）						
成績評価方法	■理解度確認テスト（4 0％）：適応ルーブリック E1・I1 （評価の観点）スポーツ運動学に関する基礎的知識の理解度について評価します。 （フィードバック方法）テスト終了後に模範解答を示し、解説を行います。 ■授業参加度（6 0％）：適応ルーブリック E1・I1 （評価の観点）授業内で実施する授業シート及びリアクションシートの内容により授業内容を把握し、簡潔にまとめて記述ができるかどうか評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行います。						
履修条件	特にありません。						
履修上の注意点	特にありません。						
授業内容	<table><tr><td>回</td><td>内容</td></tr><tr><td>1</td><td>①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行う。また、授業の概要やその方法を学ぶ。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分） ガイダンスで説明された内容を踏まえて授業資料を作成し、持参すること。</td></tr></table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行う。また、授業の概要やその方法を学ぶ。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分） ガイダンスで説明された内容を踏まえて授業資料を作成し、持参すること。		
回	内容						
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行う。また、授業の概要やその方法を学ぶ。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分） ガイダンスで説明された内容を踏まえて授業資料を作成し、持参すること。						

2	①授業テーマ スポーツ運動学とは ②授業概要 スポーツ運動学という学問の発生や成り立ちについて述べることができ、研究の課題や対象について説明することができる。(E1・I1) ③予習(120分) スポーツ運動学とはどのような学問であるか自分なりに調べておく。 ④復習(120分) 授業内で取り扱った研究課題について図書館やインターネットを利用してまとめる。
3	①授業テーマ 競技スポーツにおける競技力と達成力の構造 ②授業概要 競技スポーツにおける競技力について述べることができ、スポーツ運動学の領域での認識について説明することができる。(E1・I1) ③予習(120分) 競技スポーツにおける競技力について自身の考えをまとめておく。 ④復習(120分) 授業で取り扱った競技力の認識について、自身の競技スポーツに置き換えて整理しておく。
4	①授業テーマ 競技スポーツにおける体力に関する運動学的認識 ②授業概要 競技スポーツにおける体力について述べることができ、スポーツ運動学の領域での認識について説明することができる。(E1・I1) ③予習(120分) 競技スポーツにおける体力について自身の考えをまとめておく。 ④復習(120分) 授業で取り扱った体力の認識について、自身の競技スポーツに置き換えて整理しておく。
5	①授業テーマ 競技スポーツにおける技術・戦術に関する運動学的認識 ②授業概要 競技スポーツにおける技術・戦術について述べることができ、スポーツ運動学の領域での認識について説明することができる。(E1・I1) ③予習(120分) 競技スポーツにおける技術・戦術について自身の考えをまとめておく。 ④復習(120分) 授業で取り扱った技術・戦術の認識について、自身の競技スポーツに置き換えて整理しておく。
6	①授業テーマ 運動の構造に関する運動学的認識 ②授業概要 運動の構造について学び、スポーツ運動学の領域での認識について説明することができる。(E1・I1) ③予習(120分) 運動の構造とは何か自身の考えをまとめておく。 ④復習(120分) 授業で取り扱った運動の構造の認識について、自身の競技スポーツに置き換えて整理しておく。
7	①授業テーマ 運動の学習と位相 ②授業概要 人間が運動を学習する上での特性について学び、運動学習における学習の位相の展開について説明することができる。(E1・I1) ③予習(120分) 運動を学習する上で必要と考えられる条件について自身の考えをまとめておく。 ④復習(120分) 自身の競技スポーツ題材に取り上げ、運動学習における位相の展開についてまとめておく。
8	①授業テーマ コツとしての身体知 ②授業概要 日常的に用いられる「コツ」について、スポーツ運動学における本質的な意味について学び、説明することができる。(E1・I1) ③予習(120分) コツについて自身の意見をまとめておく。 ④復習(120分) 講義内容をもとに自身の競技スポーツにおける「コツ」を説明できるように整理しておく。
9	①授業テーマ 身体知と創発 ②授業概要 これまで学んだ身体知の概念と合わせて運動の発達や指導に欠かすことのできない、動感創発身体知について学び、説明することができる。(E1・I1) ③予習(120分) 創発とは何か調べ、自身の意見をまとめておく。 ④復習(120分) 動感創発身体知について自身の競技スポーツを具体例に挙げて説明できるようにしておく。
10	①授業テーマ 身体知と促発 ②授業概要 これまで学んだ身体知の概念と合わせて運動の発達や指導に欠かすことのできない、動感促発身体知について学び、説明することができる。(E1・I1) ③予習(120分) 促発とは何か調べ、自身の意見をまとめておく。 ④復習(120分) 動感促発身体知について自身の競技スポーツを具体例に挙げて説明できるようにしておく。
11	①授業テーマ 運動の観察 ②授業概要 動きの系統性や相違点などから運動を観察する方法について学び、運動の観察について説明できるようになる。(E1・I1) ③予習(120分) 自身の運動観察の経験についてまとめておく。 ④復習(120分) 自身の競技スポーツにおける動きを1つ取り上げ、動きの系統や観察ポイントをまとめておく。
12	①授業テーマ 運動指導の前提条件 ②授業概要 運動指導の前提条件についてこれまで学習してきた内容を踏まえた上で学び、運動指導に関する知識について説明することができる。(E1・I1) ③予習(120分) 自身がこれまで受けてきた運動指導についてまとめておく。 ④復習(120分) 講義内容をもとにこれまで受けてきた運動指導の良い点と悪い点をまとめておく。
13	①授業テーマ 動き方を覚えさせるには ②授業概要 これまで学習してきた学習位相や運動の観察方法を用いて動き方を覚えさせる方法について学び、動感促発能力について説明することができる。(E1・I1) ③予習(120分) これまでの授業資料をもとに、運動の観察から運動指導の前提条件まで関連付けて整理しておく。 ④復習(120分) 自身が競技スポーツにおいてはじめて修得した動き方について、どのように修得したか具体的に説明できるようにしておく。
14	①授業テーマ スポーツ運動学の研究法 ②授業概要 これまでの授業内容を用いてスポーツ運動学の学問領域における研究方法について学び、各種考察法について説明することができる。(E1・I1) ③予習(120分) スポーツ運動学の学問領域における学術論文を探しておく。 ④復習(120分) 講義内容をもとにスポーツ運動学の学術論文を読み、その内容についてまとめておく。
15	①授業テーマ 本授業のまとめ ②授業概要 これまでの授業内容を総括し、スポーツ運動学で用いられる専門知識およびその知識を用いて自身の運動について説明することができる(E1・I1)。 ③予習(120分) これまでの授業資料および自身のリアクションペーパー、ノートなどを整理しておく。 ④復習(120分) スポーツ運動学と他の領域について自身が履修している科目等からその関連性を確認しておく。
関連科目	スポーツ運動学演習 [SSCS3609]
教科書	指定はありません。
参考書・参考URL	授業時に紹介します。

連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜3限 それ以外の時間については事前にアポイントメントをとればラーニングセンターで対応します。
研究比率	

